Ⅱ. シミュレーションの結果

1. 東京湾北部地震を想定した震度予測 …… 8

2. 全壊等被害 …… 10

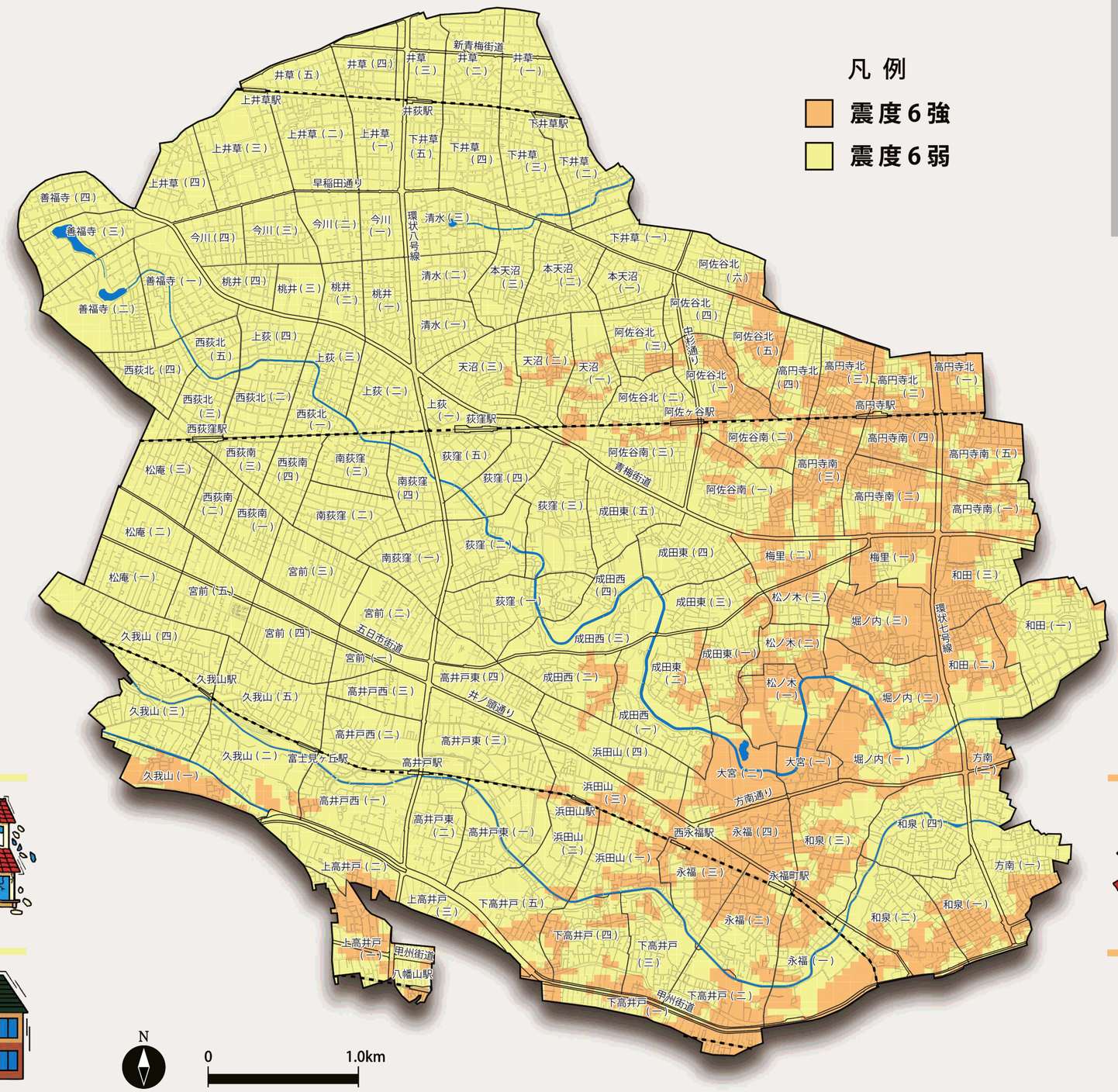
3. 焼失被害 …… 18

4. 人的被害 …… 32

1. 東京湾北部地震を想定した震度予測

震度予測について、地盤の状況や震源までの距離などからシミュレーションを行いました。

- 同じ地域でも震度予測に差が生じるのは、想定震源地から杉並区までの揺れの伝わり方や区内の地盤状況の違いによることが主な要因と考えられます。
- 区東部の地域に震度６強の揺れが広範囲に生じるのは、震源に近いことが主な原因と考えられます。



首都直下地震の中でも杉並区内の被害が最大とされている「東京湾北部地震（マグニチュード 7.3)」を想定

東京湾北部地震 想定震源位置図

震度６弱

人の体感・屋内外の状況

- ◆ 立っていることが困難になる。
- ◆ 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- ◆ 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。

耐震性が低い木造建物

- ◆ 壁などに大きなひび割れ・亀裂が入ることがある。
- ◆ 瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

耐震性が高い木造建物

- ◆ 壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。

引用：気象庁、気象庁震度階級の解説（平成 21 年 3 月）

震度６強

人の体感・屋内外の状況

- ◆ はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
- ◆ 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。
- ◆ 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

耐震性が低い木造建物

- ◆ 壁などに大きなひび割れ・亀裂が入るものが多くなる。
- ◆ 傾くものや、倒れるものが多くなる。

耐震性が高い木造建物

- ◆ 壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。

引用：気象庁、気象庁震度階級の解説（平成 21 年 3 月）